

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 亀田製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中 通泰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇

TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	19,542	4.4	863	91.0	1,005	93.0	510	105.5
21年3月期第1四半期	18,727	—	451	—	521	—	248	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	23.17	—
21年3月期第1四半期	11.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	50,904	27,537	53.7	1,242.74
21年3月期	49,546	27,177	54.4	1,222.42

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 27,321百万円 21年3月期 26,967百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	38,000	4.0	800	79.4	900	56.3	400	90.4	18.15
通期	80,000	3.2	3,500	11.9	3,700	11.6	2,100	9.0	95.30

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 22,318,650株 21年3月期 22,318,650株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 333,391株 21年3月期 258,006株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 22,036,321株 21年3月期第1四半期 22,316,432株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、昨年の米国金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響により、国内経済は引き続き厳しい環境となりました。また、個人消費は所得や雇用の先行き不安からさらに節約志向が高まりました。

食品・菓子業界においては、生活必需品としての位置づけから需要は全般に底堅く推移いたしましたが、より安全・安心で価値ある商品をご提供することが一層強く求められました。

このような経営環境の下で、当グループは新しい3カ年の中期経営計画の初年度にあたり、国内市場における主力商品の販売拡大とグローバル・フード・カンパニーを目指した海外市場への取り組みを推進いたしました。

スーパーマーケット・コンビニエンスストア市場では、主力商品「スーパーフレッシュ柿の種」、「ハッピーターン」、「手塩屋」などが引き続き好調に推移し、販売実績は前年を上回りました。一方で、「ぼたぼた焼」、「まがりせんべい」、「海苔ピーパック」などが前年を下回りました。また、百貨店市場では来客数減少の影響もあり前年を下回りました。海外市場では、米国における「柿の種」の取り扱い店舗拡大や中国における海苔巻商品の販売拡大に取り組みしました。

以上の取り組みによって菓子の製造販売事業は総じて順調に推移したほか、貨物運送、倉庫事業ならびにその他の事業においても、厳しい経営環境ながら堅調に推移いたしました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,542百万円（前年同期比815百万円の増加）となりました。

利益面では、一部の資材価格動向はやや落ち着いたものの、原料米の価格高騰によりコスト環境は引き続き厳しい状況となりました。これに対して当グループは、固定費やロスの削減活動や販売促進費の効果的な執行に引き続き取り組んだほか、主力商品に集中した販売による売上高の拡大と稼働率の向上によって利益を確保いたしました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は863百万円（前年同期比411百万円の増加）、経常利益は1,005百万円（前年同期比484百万円の増加）、四半期純利益は510百万円（前年同期比262百万円の増加）とそれぞれ増加いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、20,360百万円（前連結会計年度末比991百万円の増加）となりました。

これは主に現金及び預金の残高増加や、たな卸資産の増加による一方、受取手形及び売掛金の残高減少によるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、30,544百万円（前連結会計年度末比366百万円の増加）となりました。

これは主に設備投資による増加や、投資有価証券の評価差額の増加による投資その他の資産の増加の一方、減価償却による有形固定資産の減少によるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、15,673百万円（前連結会計年度末比1,041百万円の増加）となりました。

これは主に未払法人税等の増加や、賞与引当金の増加によるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,693百万円（前連結会計年度末比42百万円の減少）となりました。

これは主に長期借入金の約定返済による減少であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、27,537百万円（前連結会計年度末比359百万円の増加）となりました。

これは主に利益剰余金の増加により株主資本が増加したことや、その他有価証券評価差額金の増加などによる評価・換算差額等の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の回収による増加の一方、法人税等の納税やたな卸資産の増加などにより、1,887百万円（前年同期比218百万円の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増加や設備投資による支出などにより、△1,822百万円（前年同期比1,281百万円の支出増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、△449百万円（前年同期比98百万円の支出増加）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して369百万円減少し、現金及び現金同等物の四半期末残高は4,803百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに業績が進捗していることから、連結・個別共に平成21年5月11日発表の見通しから変更ありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成21年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,915,449	6,274,239
受取手形及び売掛金	8,857,671	9,716,488
商品及び製品	1,098,914	1,009,201
仕掛品	491,512	477,932
原材料及び貯蔵品	1,596,880	937,260
その他	1,407,664	963,084
貸倒引当金	7,229	8,588
流動資産合計	20,360,863	19,369,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	8,182,915	8,309,359
機械装置及び運搬具 (純額)	7,114,994	7,388,529
土地	6,642,902	6,642,902
その他 (純額)	949,575	458,535
有形固定資産合計	22,890,387	22,799,327
無形固定資産		
のれん	90,430	95,189
その他	463,941	441,410
無形固定資産合計	554,371	536,600
投資その他の資産		
その他	7,159,486	6,900,485
貸倒引当金	60,136	59,136
投資その他の資産	7,099,349	6,841,349
固定資産合計	30,544,108	30,177,276
資産合計	50,904,972	49,546,896

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,588,930	5,476,459
短期借入金	2,333,834	2,371,586
未払法人税等	705,160	391,855
賞与引当金	1,918,249	1,234,105
その他の引当金	239,030	293,600
その他	4,888,429	4,864,808
流動負債合計	15,673,635	14,632,415
固定負債		
長期借入金	312,000	411,206
退職給付引当金	6,703,800	6,652,664
その他の引当金	335,933	335,823
負ののれん	63,405	69,169
その他	278,826	267,625
固定負債合計	7,693,965	7,736,488
負債合計	23,367,600	22,368,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	25,596,973	25,306,987
自己株式	451,406	342,654
株主資本合計	27,578,232	27,396,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,632	198,543
為替換算調整勘定	165,648	231,177
評価・換算差額等合計	256,280	429,721
少数株主持分	215,419	210,715
純資産合計	27,537,371	27,177,992
負債純資産合計	50,904,972	49,546,896

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	18,727,198	19,542,513
売上原価	11,319,583	11,637,762
売上総利益	7,407,615	7,904,750
販売費及び一般管理費	6,955,689	7,041,691
営業利益	451,926	863,059
営業外収益		
受取利息	2,590	3,565
受取配当金	46,046	46,631
負ののれん償却額	-	5,764
持分法による投資利益	-	75,255
その他	64,398	39,468
営業外収益合計	113,035	170,685
営業外費用		
支払利息	9,968	8,426
持分法による投資損失	18,572	-
その他	15,401	19,754
営業外費用合計	43,942	28,180
経常利益	521,019	1,005,563
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,056	1,460
特別利益合計	2,056	1,460
特別損失		
固定資産処分損	11,744	78,725
減損損失	17,799	40,435
その他	9,396	2,283
特別損失合計	38,940	121,443
税金等調整前四半期純利益	484,136	885,581
法人税、住民税及び事業税	545,619	700,731
法人税等調整額	311,261	326,582
法人税等合計	234,358	374,148
少数株主利益	1,264	840
四半期純利益	248,513	510,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	484,136	885,581
減価償却費	631,851	651,063
減損損失	17,799	40,435
のれん償却額	4,759	4,759
負ののれん償却額	-	5,764
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,710	140
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,935	51,135
賞与引当金の増減額(は減少)	694,709	684,144
その他の引当金の増減額(は減少)	41,539	54,459
受取利息及び受取配当金	48,637	50,197
支払利息	9,968	8,426
持分法による投資損益(は益)	18,572	75,255
投資有価証券評価損益(は益)	-	2,283
固定資産処分損益(は益)	8,983	57,998
売上債権の増減額(は増加)	876,690	863,749
たな卸資産の増減額(は増加)	207,662	756,876
仕入債務の増減額(は減少)	137,171	107,260
その他	10,016	195,393
小計	2,591,012	2,218,749
利息及び配当金の受取額	47,764	48,224
利息の支払額	4,624	3,424
法人税等の支払額	528,146	376,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,106,006	1,887,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	6,900	1,003,000
有形固定資産の取得による支出	502,318	726,404
有形固定資産の売却による収入	2,607	0
投資有価証券の取得による支出	2,837	45,188
その他	31,633	48,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	541,082	1,822,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	37,208
長期借入金の返済による支出	146,446	99,749
自己株式の取得による支出	422	108,751
配当金の支払額	205,103	198,815
その他	-	5,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	351,972	449,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,781	16,824
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,176,170	369,062
現金及び現金同等物の期首残高	5,000,996	5,172,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,177,167	4,803,237

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	17,883,716	626,172	217,309	18,727,198	—	18,727,198
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	280	1,167,594	168,966	1,336,841	(1,336,841)	—
計	17,883,996	1,793,767	386,275	20,064,039	(1,336,841)	18,727,198
営業利益	369,891	76,861	5,172	451,926	—	451,926

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	菓子の製造 販売事業 (千円)	貨物運送、 倉庫事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,753,939	621,248	167,325	19,542,513	—	19,542,513
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	253	1,157,818	209,360	1,367,432	(1,367,432)	—
計	18,754,193	1,779,066	376,686	20,909,946	(1,367,432)	19,542,513
営業利益	771,642	74,540	16,877	863,059	—	863,059

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

(1) 菓子の製造販売事業……菓子の製造販売

(2) 貨物運送、倉庫事業……貨物運送、倉庫

(3) その他……自動車の販売・修理、コンピュータソフトウェアの開発・販売、設備等の設計・監理

3 会計方針の変更

前第1四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(1)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」2.(2)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4 追加情報

前第1四半期連結累計期間

追加情報に記載のとおり、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、営業利益は「菓子の製造販売事業」で25,218千円、「貨物運送、倉庫事業」で162千円それぞれ増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。